



HIVの知識 手話と字幕で

耳の聞こえない人にもエイズウイルス(HIV)の正しい知識を広めようと、自身も耳が聞こえない映画監督今村彩子さん(39)が、手話と字幕を使った感染予防動画を制作した。世界エイズデーの12月1日に動画投稿サイト「ユーチューブ」などで無料公開し、ダウンロードも可能にした。「情報格差をなくし、たくさんの人に見てほしい」としている。

耳の聞こえない映画監督

今村 彩子さん

約15分の動画では、専門医や手話通訳者が、感染経路や検査を受ける方法、感染しても治療で長生きできることなど基本知識を説明。感染者へのアンケートで得られた体験談も紹介し、「死にたい」とまで思い詰めた苦しい経験や、別の感染者と出会い、救われた話も伝えた。

「HIVの感染は検査を受けないと分からないので啓発は重要だ」と強調するのは、撮影に参加した今村真弓医師(40)。制作費のうち100万円は、来年1月末までインターネット上のクラウドファンディングで募集している。これまで、ろう者や難聴者をテーマにしたドキュメンタリーを撮ってきた今村さん。自ら自転車で行く日本を縦断した作品や、耳が聞こえない性的少数者(LGBT)など、どの存在にスポットを当てた教材用のDVDなどを制作してきた。今回、HIVの感染予防動画を撮ろうと思ったきっかけは、支援・啓発団体の代表から「感染者には耳が聞こえない人も多い」という話を聞いたこと。その場で制作を申し出たが、その後自分の勉強不足を思い知らされた。撮影を通し、ろう者や難聴者がコミュニケーションの壁により、一般の相談窓口などにアクセスしづらい実態があることも知ったという。

予防啓発動画を公開

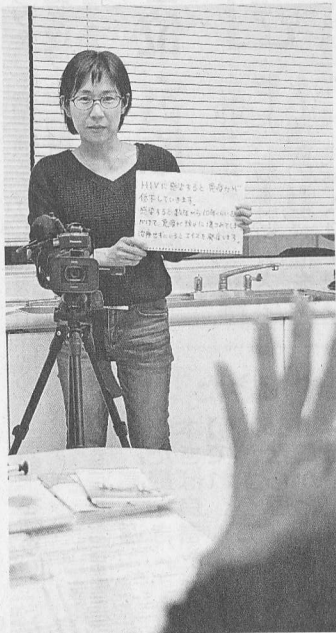
「HIVの感染は検査を受けないと分からないので啓発は重要だ」と強調するのは、撮影に参加した今村真弓医師(40)。制作費のうち100万円は、来年1月末までインターネット上のクラウドファンディングで募集している。

これまで、ろう者や難聴者をテーマにしたドキュメンタリーを撮ってきた今村さん。自ら自転車で行く日本を縦断した作品や、耳が聞こえない性的少数者(LGBT)など、どの存在にスポットを当てた教材用のDVDなどを制作してきた。今回、HIVの感染予防動画を撮ろうと思ったきっかけは、支援・啓発団体の代表から「感染者には耳が聞こえない人も多い」という話を聞いたこと。その場で制作を申し出たが、その後自分の勉強不足を思い知らされた。撮影を通し、ろう者や難聴者がコミュニケーションの壁により、一般の相談窓口などにアクセスしづらい実態があることも知ったという。



日本では 自分の感染に気づいている人が7~8割とされています

今村真弓医師(右)と手話通訳者によるHIVの感染予防動画(ユーチューブから)



病院での撮影に臨む映画監督今村彩子さん(名古屋市中区)